議会だより

No.104
8ページ～11ページ

6月定例会

白井簡水 水源補修に380万円

地上デジタル放送の受信対策調査も

昨年の10月15日に白井簡易水道を視察する産経常任委員会の皆さん

平成20年第5回定例会が6月24日に開かれ、一般会計・5特別会計の補正予算をはじめ、ふるさと応援基金条例の制定など10議案を可決しました。

一般質問には2人が登壇。合併問題や原油価格の高騰による支援策など、村の諸課題について議論が行われました。

土地売却収入を基金に積み立て

▽一般会計補正予算

補正額1223万9千円を増額し、歳入歳出の予算総額を21億5023万9千円にしました。

歳入の主なものは、土地売払の収入418万3千円、老人保健事業特別会計への繰入金345万7千円などをそれぞれ増額しています。

歳出の主なものは、土地の売払収入418万3千円を財政調整基金積立金に増額し、簡易水道特別会計への繰出金190万円、住宅などの耐震改修に伴う補助金180万円、デジタルテレビ放送に伴う受信調査に36万8千円などをそれぞれ増額しました。

白井簡水補修に約380万円を計上

▽簡易水道特別会計補正予算

白井簡易水道（第2）の水源補修工事のため380万円を増額し、歳入歳出の予算総額を7458万6千円にしました。

固定資産委員に小中居さん再任

▽固定資産評価審査委員会委員の選任

6月30日で任期満了になる、堀内の小中居敏勝固定資産評価審査委員会委員（57）＝写真＝を再任しました。

任期は平成20年7月1日から3年間です。

農業委員会委員野﨑さんを推薦

村農業委員会委員が7月19日に任期満了となるため、村長の依頼を受けて議会推薦の委員を審議し、太田名部の野﨑才子さん（54）＝写真＝が議会推薦されました。

任期は平成20年7月20日から3年間です。

●行政視察リポート

ごみ減量化の先進地に学ぶ

北海道伊達市

村の各種事業の促進を図るために行っている議員の県外行政視察が、5月13日から15日の3日間行われました。

今回の視察はごみの減量化の先進事例を学ぶもので、村議員が北海道伊達市を訪問しました。

現地で説明を受ける村議会議員の一行

ここでは、視察研修の内容を報告します。

伊達市は日本で最初にごみの有料化を実施した環境保全への取り組みが優れている町です。

生ごみや畜糞、水産系雑物などを堆肥としてリサイクルすることによって、クリーン農業を推進しています。

そのほかの特徴としては、高齢者や障害者を積極的に受け入れている福祉の町としても知られています。

現地視察では伊達市の担当課と施設の管理運営を受託している「ばんけいリサイクルセンター」の指導のもと、「伊達市堆肥センター」を視察しました。

ここでは牛糞、鶏糞、生ごみ、水産系雑物などを堆肥として年間5千800トンを生産し、農家や家庭菜園用に販売しています。

村でもすでに昆布残さを活用した堆肥造りに取り組んでいますが、今後の新たな取り組みとして、生ごみなどの減量化と、リサイクル活用による環境保全を推進することが大切と感じました。

主な議会の動き

●4月

▽15日・議会全員協議会▽27日・村消防団特別点検

●5月

▽1日・第4回久慈広域連合議会（久慈市）▽13～15日・議員行政視察研修（北海道伊達市）▽20日・議会全員協議会、くろさき荘視察と経営検討会▽26日・盛岡普代間道路・国道455号整備促進期成同盟会総会（盛岡市）▽27日・三陸縦貫道路整備促進期成同盟会（宮古市）、東部町村議会議長会定期総会（岩泉町）▽28日・県土整備部関係団体通常総会（盛岡市）▽29日・町村議員研修（盛岡市）▽30日・第4回臨時議会

●6月

▽6日・国道281号整備促進期成同盟会（盛岡市）▽12日・広域振興局整備地域説明会（久慈市）▽16日・国道45号尾肝要道路整備促進期成同盟会（田野畑村）▽17日・三陸国道事務所事業要望（宮古市）

ふるさとを応援基金条例を制定

▽普代村ふるさと応援基金条例の制定

ふるさと納税制度の創設に伴い、村づくりに対する寄付金を広く募るために制定されました。施行は6月27日からです。

発議1件を可決

議員から発議案1件が提案可決され、意見書が関係官庁に提出されました。意見書の要旨は次の通りです。

介護職員の待遇改善についての意見書

介護報酬改定後の介護老人保健施設を取り巻く環境は厳しくなっている。特に介護に携わる職員の給与水準が低いことから、「生活できるのか将来が不安」を理由に介護職員が仕事を辞めなければならない実態がある。今後急速に進む少子高齢化社会の中で介護サービスに従事する人材の安定的な確保のため介護職員の待遇の改善を求めるもの。

1 介護報酬の増額改定
2 介護職員の給与体系の確立
3 医師、看護師、介護職員等の確保
4 介護老人保健施設の運営確保
5 介護保険制度の確立

■意見書の提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣

第4回臨時議会

第4回臨時議会が5月30日に開かれ、平成19年度の補正予算の専決処分や村税条例の一部改正などの専決処分と平成20年度の休養施設特別会計補正予算が審議され、すべて原案通り承認または可決されました。

休養施設特別会計補正予算では累積赤字分の補填のための繰上充用金1億3484万7千円を増額し、歳入歳出の総額を2億2484万6千円としました。

なお、累積赤字額は一般会計からの繰入金などにより前年度より約3千700万円少ない金額となっています。